

<特集「情報標示の諸要素」>

スペイン語の情報標示の諸要素 Markers of Information Structure in Spanish

喜多田 敏嵩¹, 堀江 舞柚²
Toshitaka Kitada, Mayu Horie

¹ 東京外国語大学語学研究所特別研究員
Special Researcher of the Institute of Language Research, Tokyo University of Foreign Studies

² 東京外国語大学大学院総合国際学研究所
Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

要旨: 本稿は、特集補遺「情報標示の諸要素」(『語学研究所論集』第22号, 2017年, 東京外国語大学)に寄与するものである。

Abstract: This report contributes to the special cross-linguistic study on ‘Markers of Information Structure’ (*Journal of the Institute of Language Research* 22, 2017, Tokyo University of Foreign Studies).

キーワード: スペイン語、情報標示の諸要素

Keywords: Spanish, Markers of Information Structure

今回のアンケート調査に際して、喜多田はスペイン出身の母語話者1名、堀江はコスタリカ出身の母語話者1名の協力を得た¹。本稿の執筆は喜多田が担当し、(1-k)や(2-h)のように例文番号末尾にk/hが付して、喜多田(k)・堀江(h)どちらの訳出であるかを明記した。また、同一の報告者から複数の訳出が提出された場合については、(1-k)(1-h-1)(1-h-2)のように表記した。なお、喜多田・堀江の間で相違点の見られない例文については喜多田(k)の訳出を優先的に採用している。

(1) この土地は野菜がよく育つ。だから高い値段で売れるだろう。

(1-k) Esta tierra da una cosecha abundante. Por eso se venderá caro.

Est-a-Ø tierra da un-a-Ø cosecha abundante-Ø.
this.ADJ-F-SG ground give.IND.PRES.3SG ART.INDF.F-SG harvest abundant-SG

Por es-o se vender-á car-a-Ø.
for that.DEM-N PN.REFL.3 sell-IND.FUT.3SG expensive-F-SG



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

¹ 喜多田は自身で西訳を行った後、スペインの母語話者に添削を依頼した。堀江は日本語・英語で例文の説明を行った後、コスタリカの母語話者に西訳を依頼した。

スペイン語は主語卓越型言語であり、動詞の必須項ではない名詞 (3 人称) が統語的軸項として機能することは困難である。(1-k) は「この土地」が主語として現れることで、第二文の主語であり続けることが可能となる。斜格項を用いて「この土地において」と記した場合、二文目で主語代名詞 3 人称単数女性形 *ella* などを明示して主語の交替を明示しない限り、「この土地」が主語として機能し続けることは難しい。なお、スペイン語は **pro-drop** 言語であるため、第二文の主語は明示されていないが、動詞の活用形が 3 人称単数であることから主語が「この土地」であることが分かる。

(2) 私は頭が痛い。だから今日は休む。

(2-k-1) Tengo dolor de cabeza. Por eso, hoy no voy al trabajo.

Tengo	dolor	de	cabeza.	Por	es-o,	hoy	no	voy
have.IND.PRES.1SG	ache	of	head	for	that.DEM-N	today	NEG	go.IND.PRES.1SG
al			trabajo.					
to.ART.DEF.M.SG			work					

(2-k-2) Me duele la cabeza. Por eso, hoy no voy al trabajo.

Me	duel-e	la-Ø	cabeza.	Por	es-o,	hoy	no
PN.DAT.1SG	hurt-IND.PRES.3SG	ART.DEF.F-SG	head	for	that.DEM-N	today	NEG
voy		al				trabajo.	
go.IND.PRES.1SG		to.ART.DEF.M.SG				work	

例文 (2) も同様に、第二文において「休む」の主語を務める「私」は第一文の段階から主語あるいは間接目的語として統語的な必須項を担っている。ただし 1 人称/2 人称はアプリアリに定の存在であるため、(1) の「この土地」に代表される 3 人称とは異なって、動詞の必須項ではなくとも統語的軸項として機能することができると推察される。

(3) あの人だけ、時間通りに来た。

(3-k) Solo él llegó a tiempo.

Solo	él		lleg-ó		a	tiempo.
only	PN.NOM.M.3SG		arrive-IND.PST.3SG		on	time

(4) これはここでしか買えない。

(4-k) Esto solo se puede comprar aquí.

Est-o	solo	se	pued-e		comprar	aquí.
this.PN-N	only	PN.REFL.3	can-IND.PRES.3SG		buy.INF	here

(5) その家にいたのは子供ばかりだった。

(5-k-1) Solo había niños en esa casa.

Solo	había		niñ-o-s	en	es-a-Ø	casa.
only	exist-IND.PST.IPFV.3SG		child-M-PL	in	that.DEM-F-SG	house

(5-k-2) No había más que niños en esa casa.

No había más que niño-o-s en es-a-Ø casa.
 NEG exist-IND.PST.IPFV.3SG more.PN than child-M-PL in that.DEM-F-SG house

(5-h) En la casa solo se notaban los niños.

En la-Ø casa solo se not-aban los niño-o-s.
 in ART.DEF.F-SG house only PN.REFL.3 notice-IND.PST.IPFV.3PL ART.DEF.M.PL child-M-PL

(3)(4)(5) は限定「だけ」「しか」「ばかり」に関する例文であるが、スペイン語ではすべての場合において solo が用いられる。solo はそれを取り立てる要素と隣接する必要がなく、(4-k) では aquí(ここで)と離れて生起している。ほかにも (5-k-2) のように no más que...(～しかない) を用いることも可能である。なお、(5) について堀江が提示した (5-h) は「大人がいたこと」を排除しない訳出となっている。

(6) 次回こそ、失敗しないようにしよう。

(6-k) La próxima vez sí que intentaré no fracasar.

La-Ø próxim-a-Ø vez sí que intentar-é no fracasar.
 ART.DEF.F-SG next-F-SG time yes that.CONJ intend-IND.FUT.1SG NEG fail.INF

(6-h) La próxima vez, intenta no equivocarte.

La-Ø próxim-a-Ø vez intent-a no equivocarte.
 ART.DEF.F-SG next-F-SG time try-IMP.2SG NEG make.a.mistake.INF=PN.REFL.2SG

「こそ」の機能は主題化して文頭に置くことで表現するのが通例である。(6-k) では肯定を表す副詞 sí によって主題 la próxima vez(次回) が殊更に強調されている。(6-h) は「次回こそ失敗しないようにせよ」という肯定命令文となっている。

(7) 疲れたね、お茶でも飲もう。

(7-k-1) Estamos cansados. Tomemos un té o algo.

Est-amos cans-ad-o-s. Tom-emos un-Ø té o algo.
 be-IND.PRES.1PL tire-PP-M-PL take-SBJV.PRES.1PL ART.INDF-M.SG tea or something

(7-k-2) Estamos cansados. Tomemos algo como un té.

Est-amos cans-ad-o-s. Tom-emos algo como un-Ø té.
 be-IND.PRES.1PL tire-PP-M-PL take-SBJV.PRES.1PL something like ART.INDF-M.SG tea

(7-h) Estás cansado. Vamos a tomar un té.

Est-ás cansad-o-Ø vamos a tomar un-Ø té.
 be-IND.PRES.2SG tire-PP-M-SG go.IND.PRES.1PL to take.INF ART.INDF-M.SG tea

反限定の例示「でも」は (7-k-1) のように「お茶、あるいは何か」の意で表現するのが最も自然である。(7-k-2) も適切な訳出だが、スペインの母語話者によれば、algo と como un té の間に休止が入ったり、他の飲み物が como un té の後ろで列挙される方が自然であり、algo como un té だけでは「お茶、あ

るいはお茶に類するもの」だけが想起され、飲み物の選択肢が狭まってしまう可能性があるとのことである。また、(7-h) のように言語的な明示を欠いて「一杯のお茶」と同じ訳出をとる方法も確認された。

(8) 水さえあれば、数日間は大丈夫だ。

(8-k) Solo con agua, puedes sobrevivir unos días.

Solo con agua, pued-es sobrevivir un-o-s día-s.
only with water can-IND.PRES.2SG survive.INF ART.INDF-M-PL day-PL

(8-h) Mientras tengas agua, estarás bien durante unos días.

Mientras teng-as agua, esta-rás bien durante un-o-s día-s.
while have-SBJV.PRES.2SG water be-IND.FUT.2SG fine during ART.INDF-M-PL day-PL

極端 (意外) や最低条件を表す「さえ」は (3) (4) (5) の限定と同様に solo を用いて「水だけあれば」という意にするか、「～する限り」を表す接続詞 mientras を用いて「水を持つ限り」という意にする方法が存在する。

(9) 小さい子供まで、その仕事の手伝いをさせられた。

(9-k) Hasta los niños pequeños se vieron obligados a ayudar en ese trabajo.

Hasta los niñ-o-s pequeñ-o-s se v-ieron oblig-ad-o-s a
even ART.DEF.M.PL child-M.PL small-M-PL PN.REFL.3 see-IND.PST.3PL force-PP-M-PL to
ayudar en es-e trabajo.
help.INF in that.DEM-M.SG work

(9-h-1) Incluso los niños pequeños tuvieron que ayudar con el trabajo.

Incluso los niñ-o-s pequeñ-o-s tuv-ieron que ayudar con
even ART.DEF.M.PL child-M-PL small-M-PL have-IND.PST.3PL to help.INF with
el trabajo.
ART.DEF.M.SG work

(9-h-2) Incluso a los niños pequeños les hicieron ayudar con el trabajo.

Incluso a los niñ-o-s pequeñ-o-s le-s hic-ieron ayudar
even to ART.DEF.M.PL child-M-PL small-M-PL PN.DAT.3-PL make-IND.PST.3PL help.INF
con el trabajo.
with ART.DEF.M.SG work

極端・意外の「まで」は hasta や incluso などの副詞を用いて表現する。「小さい子供」は (9-k)(9-h-1) では主語、(9-h-2) では間接目的語として機能している。

(13-h) Tu padre ya está en casa. ¿Dónde está tu madre?

Tu-Ø padre ya est-á en casa.
POSS.2SG-SG father already be-IND.PRES.3SG in house

¿Dónde est-á tu-Ø madre?
where be-IND.PRES.3SG POSS.2SG-SG mother

反類似・対比の「は」の明示的対応形式は現れなかった。(13-k) では第二文の先頭に生起する等位接続詞 y によって対比のニュアンスが示されていると考えることができるが、(13-h) では、そのような形式が全く現れていない。

(14) 誰か (が) 電話してきたよ。

(14-k-1) Alguien te ha llamado.

Alguien te ha llam-ad-o-Ø.
someone PN.DAT.2SG have.IND.PRES.3SG call-PP-M-SG

(14-k-2) Te han llamado.

Te han llam-ad-o-Ø.
PN.DAT.2SG have.IND.PRES.3PL call-PP-M-SG

特定未知の「誰か」は不定代名詞 alguien を用いることで表現されるのが通例である。また、「誰か」が主語の場合に限られるうえ、本来の特定解釈との競合が避けられないが、(14-k-2) のように動詞を 3 人称複数形に活用させた無人称構文も存在する。

(15) 誰かに聞いてみよう。

(15-k) Vamos a preguntarle a alguien.

Vamos a preguntar=le-Ø a alguien.
go.IND.PRES.1PL to ask.INF=PN.DAT.3-SG to somebody

非現実不特定の「誰か」についても (14) と同様に不定代名詞 alguien が用いられる。(15) における「誰か」は間接目的語として機能しているので、(14-k-2) のような 3 人称複数無人称文を使う余地は存在しない。

(16) 私のいない間に誰か来た？

(16-k-1) ¿Ha venido alguien mientras yo no estaba?

¿Ha ven-id-o-Ø alguien mientras yo no est-aba?
have.IND.PRES.3SG come-PP-M-SG somebody while PN.NOM.1SG NEG be-IND.PST.IPFV.1SG

(16-k-2) ¿Han venido mientras yo no estaba?

¿Han ven-id-o-Ø mientras yo no est-aba?
have.IND.PRES.3PL come-PP-M-SG while PN.NOM.1SG NEG be-IND.PST.IPFV.1SG

疑問文における「誰か」についても *alguien* が用いられる。(14-k-2) のように 3 人称複数無人称文を用いることは不可能ではないが、スペインの母語話者によると特定解釈がかなり支配的である²。(16-k-2) の容認度が低い理由として、動作主の同定が不可能、あるいは同定に関心がない 3 人称複数無人称文が、「やってきた誰か」の存在が重要となる (16) のような文にそぐわないことが考えられる³。

(17) 誰か来たら、私に教えてください。

(17-k) *Avisame si viene alguien.*

Avis-a=me si vien-e alguien.
 notify-IMP.2SG=PN.DAT.1SG if come-IND.PRES.3SG somebody

条件節内の「誰か」についても同様に、不定代名詞 *alguien* を用いる。スペインの母語話者から「3 人称複数無人称文は全く許容されない」という回答を得た。(16) と同様に「やって来る誰か」の存在が重要な文であることが一因であると推察されるが、(14) (16) とは異なって「来る」が完了時制ではないことで動作主の存在が前提されない文脈であることも関係していると考えられる。

(18) 今日は誰も来るとは思わない。／今日は誰も来ないと思う。

(18-k-1) *No creo que nadie venga hoy.* (今日は誰も来るとは思わない)

No cre-o que nadie veng-a hoy.
 NEG think-IND.PRES.1SG that.CONJ nobody come-SBJV.PRES.3SG today

(18-k-2) *Creo que hoy no viene nadie.* (今日は誰も来ないと思う)

Cre-o que hoy no vien-e nadie.
 think-IND.PRES.1SG that.CONJ today NEG come-IND.PRES.3SG nobody

(18) は間接否定に関する例文であるが、スペイン語では「誰も来るとは思わない」「誰も来ないと思う」の両方が使用される。いずれの場合においても、「誰か」には否定極性表現の *nadie* を用いる。

(19) そこには今誰もいないよ。

(19-k) *Ahí no hay nadie ahora.*

Ahí no hay nadie ahora.
 there NEG have.IND.PRES.3SG nobody now

直接否定の場合も同様に *alguien* ではなく否定極性表現の *nadie* を用いる。

(20) (それは) 誰でもできる。

(20-k) *Cualquiera lo hace.*

Cualquiera lo hac-e.
 whoever PN.ACC.N.3 do-IND.PRES.3SG

² 容認度の低さを明記するため、文番号 (16-k-2) の直後に疑問符 ? を付した。

³ 事実、スペイン語の 3 人称複数無人称文は日本語の「誰か」の訳出に用いられる第一の形式とは言い難い。むしろ、「私は財布を盗まれた」「税金が上がると言われている」に代表される「受け身」の意味を表すことが多い。

自由選択の「誰でも」には不定代名詞 *cualquiera* を用いるのが通例である。*cualquiera* は関係代名詞 *cual* と願望の動詞 *querer* の接続法現在 3 人称単数形による複合語である。

(21) そんなこと (は)、みんな知っているんじゃないか!?

(21-k) *Cualquiera lo sabe, ¿no?*

Cualquiera lo sab-e, ¿no?
 whoever PN.ACC.N.3 know-IND.PRES.3SG no

(21-h-1) *Acaso no lo sabemos todos.*

Acaso no lo sab-emos tod-o-s.
 perhaps NEG PN.ACC.N.3 know-IND.PRES.1PL all.PN-M-PL

(21-h-2) *¡Sabes que todo el mundo lo sabe!*

¡Sab-es que tod-o-Ø el mundo lo sab-e!
 know-IND.PRES.2SG that.CONJ all.ADJ-M-SG ART.DEF.M.SG world PN.ACC.N.3
 know-IND.PRES.3SG

(21-h-3) *Todo el mundo lo sabe.*

Tod-o-Ø el mundo lo sab-e.
 all.ADJ-M-SG ART.DEF.M.SG world PN.ACC.N.3 know-IND.PRES.3SG

自由選択の「みんな」は様々な手段で表現されるが、(21-k) のように不定代名詞 *cualquiera* を用いる方法、(21-h-1) のように *all* にあたる *todos* を用いる方法、(21-h-2)(21-h-3) のように *todo el mundo* (全世界) と表現する方法などが見られた。(21-k) は「誰でもそれを知っている、ちがうかい?」という付加疑問文であり、(21-h-1) は疑問符が付いていないものの、「まさか全員がそれを知らないとでも?」という反語を表す疑問文であると考えられる。(21-h-2) は「全員がそれを知っていることをお前は知っているだろう!」という感嘆文であり、(21-h-3) は「全員がそれを知っている」という意の平叙文である。

(22) そんなもの、誰が買うんだよ!? 誰も買うわけじゃないか!

(22-k) *¿¡Quién compra eso!?*

¿¡Quién compr-a es-o!?
 who.INTERR buy-IND.PRES.3SG that.DEM-N

(22-h) *¿Quién compraría algo así? ¡Nadie lo va a comprar!*

¿Quién comprar-ía algo así?
 who buy-IND.COND.3SG something like.this

¡Nadie lo-Ø va a comprar!
 nobody PN.ACC.M-SG go.IND.PRES.3SG to buy.INF

反語の「誰」は通常の疑問詞疑問文で用いられる疑問代名詞 *quién/quiénes* を用いて表現する。動詞の法・時制は (22-k) のように直説法現在にしても良いし、(22-h) のように直説法過去未来にしてもよい。

(23) 君は英語がうまいね。

(23-k) *Hablas bien inglés.*

Habl-as bien inglés.
speak-IND.PRES.2SG well English

(23) は話し手・聞き手のなわ張り内にある情報を表す例文であるが、スペイン語では断言的文型である直接形を用いて表現する。

(24) 君は退屈そうだね。

(24-k) *Te ves aburrido.*

Te v-es aburr-id-o-Ø.
PN.REFL.2SG see-IND.PRES.2SG bore-PP-M-SG

(24-h) *Pareces aburrido.*

Parec-es aburr-id-o-Ø.
seem-IND.PRES.2SG bore-PP-M-SG

(24) は、話し手のなわ張り外・聞き手のなわ張り内にある情報を表す例文だが、スペイン語では話し手のなわ張り外であることを表す間接形として *verse* (～に見える) や *parecer* (～に見える・思われる) が使用されている。

(25) 明日も寒いらしいよ。

(25-k) *Dicen que va a hacer frío mañana también.*

Dic-en que va a hacer frío mañana también.
say-IND.PRES.3PL that.CONJ go.IND.PRES.3SG to do.INF cold tomorrow too

(25-h) *He oído que mañana va a hacer frío también.*

He o-íd-o-Ø que mañana va a hacer frío
have.IND.PRES.1SG hear-PP-M-SG that.CONJ tomorrow go-IND.PRES.3SG to do.INF cold

también.

too

(24) は、話し手・聞き手のなわ張り外にある情報を表す例文だが、スペイン語では (23) と同様に話し手のなわ張り外であることを表す間接形として *decir que* (～と言う) / *oír que* (～と耳にする) が使用されている。

略号一覧

-	inflexion	GRND	gerund	PRES	present
=	clitic boundary	IMP	imperative	PRF	perfect
∅	non-overt element	IND	indicative	PST	past
1	first person	INDF	indefinite	REFL	reflexive
2	second person	INF	infinitive	SBJV	subjunctive
3	third person	IPFV	imperfective	SG	singular
ACC	accusative	M	masculine		
ADJ	adjective	N	neuter		
ART	article	NEG	negative		
CONJ	conjunction	NOM	nominative		
DAT	dative	PL	plural		
DEF	definite	PN	pronoun		
DEM	demonstrative	POSS	possessive		
F	feminine	PP	past participle		
FUT	future	PREP	prepositional		

執筆者連絡先 : kitada.toshitaka.l0@tufs.ac.jp, horie.mayu.s0@tufs.ac.jp

原稿受理 : 2022 年 12 月 24 日